
真夏戦争

2代目妖狐

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

真夏戦争

【著者名】

2代目妖狐

【ISBN】

N6527Y

【あらすじ】

2100年の真夏戦争

登場人物

日本軍	藤原哲一等兵	Tetsu Fujiiwara
遠藤守一等兵		
山岡圭一中尉	Keiichi Yamamoto	
高橋健太一等兵	Kenta Takahashi	
秋山大介三等兵	Daisuke Akiyama	
立川正志二等兵	Masashi Tachikawa	
松本翔太一等兵	Shotaro Matsumoto	
平井誠曹長	Makoto Hirai	
岡本京一三等兵	Kyoichi Okamoto	

アメリカ軍

ランバード中尉

Rumbard

アルベルト軍曹

Alberto

艦長

captain

以上登場人物でした。

後日作品を投稿するのでよろしくお願いします。

ちなみにこの作品はザ・「クピット」と言う作品を元にして作らせて頂きました。

別に真似てはいませんw

作者2代目妖狐より

真夏戰爭（前書き）

本編

真夏戦争

2100年

8月

キーン
キーン

アメリカ軍人1「こちらF88

日本軍の姿は見えない」

ゴー――――――――

アメリカ軍人1「何だあれは?」

バババババババババン

アメリカ軍人1「うわ――――」

日本軍人「こちら藤原

アメリカ軍発見」

キーン
キーン

アメリカ軍

ザザーン

アナウンス「全機発射せよ

繰り返す

全機発射せよ」

キーン
キーン

日本軍人2「こちら遠藤」

藤原「こちら藤原どうぞ」

遠藤「今日はミサイル発射はしない

一旦撤退するどうぞ」

藤原「了解」

バババババン

遠藤「うわ―――っ？」

チクショーリ

夜

日本軍基地

三一

ミィーン

サツ

卷之三

日本軍人3「山岡圭一中尉だ

十一

藤原・藤原哲一等兵です

三國志 卷之二

辛いだろうがまあ飲め」

藤原一ありがとうございます

山岡「中だ

「うつ」の進行

ガチヤ

高喬「高喬建太」等兵

秋山「秋山大介三等兵」

立川 立川正志 等兵上

松本「松本翔太一等兵」

平井「平井誠曹長」

岡本「岡本京一三等兵」

藤原「藤原哲一等兵です」

山岡「さあみんな飲め」

松本「藤原さんどこの出身や」

藤原「神奈川です」

松本「俺大阪やさかい

よろしくな」

藤原「はあ・・・」

立川「山岡さん

明日の出動は?」

全員「・・・」

山岡「9時だ・・・」

松本「山岡さん

俺ら死ぬやろか・・・」

山岡「バカヤロー」

死ぬかどうかわからないだろ?」

平井「そうだよな・・・」

立川「死ぬなんて」

バン

山岡「死にたいなら敵に体当たりしろ?
死にたくないなら何としても生きる?」

アメリカ軍軍艦

ザザーン

アメリカ軍人1「今日で10人以上か・・・」

アメリカ軍人2「なあランバード

この戦争を始めた奴は狂ったのかな・・・」

ランバード「そうかもな・・・」

アルベルト

艦長「諸君」

ランバード「艦長?」

艦長「この[印]真を見たまえ?」

「パサ

アルベルト「これは!?」

艦長「鳥肌が立つただろ?」

ランバード「こんなものが2本・・・」

艦長「こいつを発射させないのがお前ら飛行隊の任務だ」

アルベルト「クレージーだ」

次の日

朝9時

キーン

キーン

キーン

上空
ゴー――――――

藤原「立川

今日はこんなに多いのか?」

立川「ええ多いですよ」

山岡「藤原?

聞こえるか?」

藤原「聞こえます」

山岡「敵機が太陽から突っ込んでくるぞ?」

藤原「何だと?」

キーン

ババババババン

藤原「はつ?」

立川? 応答せよ? 敵艦が2隻見える

ミサイルを発射しろ？」

立川「分かりました？」

パシュー――――

シュー――――

ドカ――――――ン

ドカ――――――ン

藤原「よくやつた？」

立川「

立川「藤原さん？」

下に敵機が居ます？」

藤原「何！？」

立川「任せてください？」

アルベルト「終わりだ」

無線「アルベルト？ 応答せよ？ 真上から敵機だ？」

アルベルト「何！？」

立川「うお――――」

アルベルト「うわ――――」

ドカ――――――ン

藤原「立川？ 立川？」

岡本「藤原さん？ 敵艦見えました？ やります？」

藤原「やれ？」

パシュー――――

シュー――――

ドカ――――

ドカ――――

岡本「ヒット？」

バババババババン

岡本「うわ――――」

藤原「岡本？」

秋山「やります？」

山岡「やれ？」

パシュー――――

シュー――――

ドカーン

秋山「よし？」

バババババババン

秋山「しまつた？

燃料タンクが？

チクショ――――

平井「秋山？」

山岡「みんな？聞こえるか？」

団体だ？やるぞ？」

パシュー――――

シュー――――

シュー――――

ドカーン

ドカーン

ドカーン

パシュー――――

シュー――――

シュー――――

シュー――――

ドカーン

ドカーン

ドカーン

ドカーン

山岡「藤原お前で最後だ？」

藤原「了解」

パシュー――――

シュー――――

ドカーン

ドカーン

藤原「ダメだ？

一隻残る？

チクショ――――

キ――――――――――

高橋「藤原さん！？」

松本「藤原さん！」

山岡「藤原？ 戻れ？」

ランバード「何やつてんだ？ あいつ？」

無線「ランバード？ 2時方向に敵機だ？」

ランバード「何！？」

ババババババババン

ランバード「うわ――――

アメリカ軍

副艦長「敵一機？ 飛行機が突っ込んできます？」

艦長「何だと！？」

早く撃ち落とせ？」

ドン

ドン

副艦長「ダメだ・・・早すぎる・・・

キ――――

ド――――

全員「うわ――――

ガシャン

艦長「チクシヨー？」

奴は音速を超えていたのか！？突き抜けて行きやがった？」

副艦長「脱出準備だ？」

艦長「何だこれは？」

ゴーグル？さつき突き抜けた飛行機の操縦士の者か？」

副艦長「艦長？」

脱出準備出来ました？」

艦長「・・・狂ってる・・・敵も味方も・・・みんな狂ってる・・・

」

ドドドドド

ドカーン

その日日本軍はアメリカ軍を消した・・・。

アメリカ軍の飛行機はなすべなく消えて行つた・・・。

あの日敵艦に突っ込んだパイロットはしばらく飛んで血を流して死んだ・・・。

その10日後日本軍が勝利した。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6527y/>

真夏戦争

2011年11月26日19時03分発行